

## 第 22 回専門日本語教育学会総会および研究討論会プログラム

日時：2020年3月6日（金） 10:00～17:30

場所：金沢大学角間キャンパス総合教育講義棟2階

総会	10:00～10:30	(A1講義室)
研究討論会	10:30～15:00	(A1・A2・A3講義室)
シンポジウム	15:30～17:30	(A1講義室)

テーマ：「外国人就労と専門日本語教育の役割」

### ●ポスター発表 10:30～12:00 (A2・A3講義室)

- A. 外国人介護人材の介護用語の理解を助ける視覚情報に関する調査  
中川健司（横浜国立大学）・角南北斗（フリーランス）・齊藤真美（国際交流基金シドニー日本文化センター）・布尾勝一郎（佐賀大学）・橋本洋輔（国際教養大学）
- B. 複数のコーパス分析に基づく接続詞使用と作文トピックの関係性  
伊集院郁子（東京外国語大学大学院）・李在鎬（早稲田大学大学院）・青木優子（東京福祉大学）・長谷部陽一郎（同志社大学）・村田裕美子（ミュンヘン大学）
- C. 保育園の連絡ノートにおける保育者による日本語記述文  
渡辺史央（京都産業大学）
- D. 外国人医師が現場で遭遇する言語的・文化的困難点について  
稲田朋晃（国際医療福祉大学）・品川なぎさ（同）
- E. 留学生によるプレゼンテーションをいかに評価するか  
ー日本語教員と他分野教員に対するインタビュー調査の事例分析からー  
福良直子（大阪大学）
- F. 日本語教育学専攻の大学院生の論文要旨作成における意識と課題  
三谷彩華（早稲田大学）
- G. 日本語による法学ライティングの協働授業を振り返る教師の語り  
ーSCATによる分析から見えてくることー  
宮島良子（名古屋経済大学）・金村マミ（名古屋大学）
- H. 介護施設における日本人のコミュニケーション講座の試み  
星摩美（福井ランゲージアカデミー鯖江）

### ●口頭発表 13:00～15:00 (A1講義室)

- 1. マンガ学部専門授業の語彙・表現調査報告  
宿利由希子（京都精華大学）・住田哲郎（同）・小柴裕子（同）
- 2. 医療現場における業界用語の使用状況 ー外国人看護師の学習支援に向けてー  
ポポヴァ エカテリーナ（大阪大学大学院博士後期課程）

3. 学術共通語彙に関する音声知識と文字知識の違い

ー中国語および韓国語を第一言語とする日本語学習者に焦点を当ててー

佐藤尚子（千葉大学）・松下達彦（東京大学大学院）・笹尾洋介（京都大学）・  
田島ますみ（中央学院大学）・橋本美香（川崎医科大学）

4. 介護分野の中国人技能実習生受入れ現場における問題意識 ー継時的なインタビュー調査からー

高野駿（首都大学東京大学院博士前期課程）

●シンポジウム 15:30-17:30 (A1講義室)

「外国人就労と専門日本語教育の役割」

趣旨説明 「特定技能」が創設された今、外国人就労に必要な専門日本語教育が何かを問う

深澤のぞみ（専門日本語教育学会会長）

発表1 外国人就労の場で必要とされている日本語

田中尚人（協同組合アドビジネスセンター理事長）

発表2 現場の専門家と日本語教師の連携をどのように行うか

加藤敬子（金沢大学大学院博士後期課程修了）

発表3 留学生から働く人へ そのプロセスで必要なことは何か

高沼理恵（金沢大学特任助教）

発表4 外国人が現場で働くときに必要な日本語とビジネス日本語

王凱（中国 南開大学副教授）

懇親会 18:15～（自然科学本館2階 カフェ丹）